

平成27年度第4四半期(平成28年1月～平成28年3月)再資源化預託金等の運用の実績

1. 平成27年度第4四半期の入出金及び運用可能額

入金及び繰越金 424億円				
預託金				
新車購入時	120億円	運用収入	債券満期償還金	前期からの繰越等
引取時	1億円	26億円	229億円	47億円
(合計)	121億円			

出金及び繰越金 150億円		運用可能額 274億円		
メーカー等への払渡	輸出返還			
75億円	45億円			

当年度流動性確保額 30億円 *1		次期繰越額等 228億円 *2	
国債	27億円 (59.9%)	政府保証債	18億円 (40.1%)

*1 突発的な預託金の出金の増加に対応するため、輸出返還金額(15億円/月)の2ヶ月分を流動性確保額とした。

*2 日本銀行による金融緩和策の影響から、取得対象の国債の利回りがマイナスとなり、平成28年2月及び3月は国債の取得を行わなかった。債券未取得額228億円については、一時的に銀行預金で運用し、次期繰越額等として取り扱った。

2. 平成27年度第4四半期の再資源化預託金等債券運用実績

10年ラダー型の資産構成を完成させるため、運用可能額274億円のうち、年限10年の債券取得に46億円を充てました。

	平成27年度				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
運用可能額	307	203	239	274	1,023
債券取得額	307	203	239	46	795
国債	286	189	223	27	726
政府保証債	21	14	16	18	69
次期繰越額等	0.2	0.1	0.1	228	-

3. 平成27年度末における保有債券残高の年限別構成

10年ラダー型の資産構成という観点では、年限10年の債券残高と他の年限の債券残高との間に差が生じることとなりましたが、平成27年度第4四半期債券取得計画で示したとおり、預託金の払渡及び輸出返還等(平成27年度実績:559億円)に対して十分な残高があり、業務に影響は出ない範囲内であるため、問題ありません。

年限(平成27年度末基準)	1以下	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
償還年度	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	
保有債券簿価残高(億円)	895	895	895	895	895	895	895	896	895	794	8,848

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※2 詳細は第67回(平成28年6月7日開催)の資金管理業務諮問委員会資料「資料4-1」をご参照ください。